

報道関係各位

平成 20 年 9 月 24 日
株式会社インターネット総合研究所

NHK 技研と IRI、映像コンテンツ記述言語の開発に関する共同研究を開始

日本放送協会放送技術研究所（東京都世田谷区、所長：久保田啓一、以下 NHK 技研）と株式会社インターネット総合研究所（東京都新宿区、代表取締役：藤原洋、以下 IRI）は、「映像コンテンツ記述言語の開発」に関する共同研究を開始しました。

本共同研究は、番組記述言語 TVML^(*)をベースとして、これを発展させた次世代のコンテンツ記述体系を策定することを目的としています。これにより、TVML 自体のアップデート、およびオブジェクト指向を取り入れた TVML の上位レイヤー言語の開発など、コンピュータでテキストから映像を自動生成する仕組みの基礎となる記述体系の確立を目指します。本研究の成果であるコンテンツ記述言語はオープンなものとし、本言語を使った各種サービスに外部団体や個人が自由に参入できる形態を取る予定です。

IRI では、テキストから映像を自動生成するソフトウェアを現在開発していますが、上述したオープンなコンテンツ記述言語に準拠することで、映像コンテンツの互換性を確保し、インターネット上の様々なサービス分野へビジネス展開を図って行く予定です。

NHK 技研においては放送分野におけるサービス展開、IRI においてはインターネットにおけるサービス展開を通し、各々の知見を持ち寄って、次世代のコンテンツおよびメディアについて総合的な研究を推進してまいります。

(*)TVML

TV program Making Language の略で 1996 年に NHK 技研により提案された。テレビ番組を記述できる特殊な言語で、TVML で書かれた番組台本を TVML プレイヤーと呼ばれる PC 上のソフトウェアで再生することで、リアルタイム CG、音声合成などで作られた番組映像が得られる。TVML は「シャキーン」「ヒミツのちからんど」などの NHK 番組制作現場で使われているほか、大学を始めとした教育機関においても広く使われている。

<TVML を利用した映像コンテンツ例>

TVMLスクリプト

```
camera: closeup ( target = Ai )  
super: on ( text = “今日のニュース” )  
character: bow ( name = Ai )  
character: talk ( name = Ai,  
text = “こんにちは、今日のニュースの時間です” )
```

こんにちは
今日のニュースの
時間です

TVMLプレイヤー



The image shows a screenshot of a web browser window titled "TVML Player". Inside the window, a 3D character with brown hair and a pink top is displayed. Below the character, there is a purple banner with the text "今日のニュース". At the bottom of the window, there are standard media control buttons (play, pause, stop, etc.) and a URL bar showing "T2Vlab#t2vlabHTML#tvm#content.tvm". A purple arrow points from the TVML script box to the character in the player, and a blue arrow points from the text box to the banner in the player.

以 上

リリースに関するお問合せ
株式会社インターネット総合研究所
所長室
<https://www.iri.co.jp/jp/form/contact.html>

本サービスに関するお問い合わせ
株式会社インターネット総合研究所
ディペンダブル・ネットワーク研究所
林 正樹
<http://t2vlab.iri.co.jp/>

TEL:03-5908-0711
FAX:03-5908-0719